

研修親睦旅行

平成22年9月17日(日)～18日(月) 裏磐梯土湯温泉

INDEX

研修親睦旅行報告	1～2
YEG ダンスパーク協賛	2
会員企業訪問・星野歯科	3
委員会活動報告	
朝食例会報告	4
会員異動 / スケジュール	4

盛り沢山の企画で、「秋」を堪能!



研修親睦旅行に参加して

月星会相談役 藤原 勝己

10月17日～18日、月星会恒例の研修親睦旅行に参加させていただきました。

紅葉の一番良い時季に職場見学と親睦旅行を…、の趣旨から栗原親睦委員長と親睦委員会で企画していただきました。

途中で日程の変更があったりして、親睦委員会の皆様は諸々の準備で大変エネルギーを使われたようです。都合がつかない会員さんも居たようですが、参加がもう少しあるのもっと楽しいものになっていたことでしょう。

午前7時30分定刻通り、マイクロバスで千葉を出発。東関東道、首都高、東北道を快調に走り、福島県磐梯・猪苗代湖畔で早めの昼食をとり、五色沼の観光へと向かいました。

五色沼は紅葉の名所の一つではありますが、今年は猛暑の影響で10日ほど遅れているとのことでした。それでも既にナナカマドの葉は真っ赤に紅葉していて、緑の中でひと際引き立ち五色沼の瑠璃色と相まって一幅の絵画のようでした。

夏の暑さで参った大小の樹々や草花達も晩秋になって、ようやく活気を取り戻し、本来の鮮やかな色釉となり私たちを元気づけてくれました。シーズンの五色沼には老若男女の観光客が押し寄せて、ボートなどを楽しんでいました。散策しながら漏れ聞こえる会話には、中国語と思われる会話も多



く、中国の勢いをひしひしと感じました。

内藤太会員と丸太の椅子に二人で座り、ソフトクリームを食べながら、若い頃のことを交えながら話していたとき、確実に成長している姿に頼もしくなり、なぜか有難さが沸き上がって来ました。

早めに土湯の旅館に到着。ゆっくりと広い温泉につかり、本当にのんびり出来ました。

少人数での宴会は、臼井先生も大いに羽根を伸ばして頂けた様に思いました。飲み放題の宴会は、素晴らしい仲居さんと冷や奴さんとの掛け合いで盛り上がり、時間を忘れて二次会に突入、部屋での二次会も飲み放題が延々と続きました。

2日目は朝から快晴で、「龍馬伝」をテーマとし、今年で56

回になる二本松菊人形展を見学しました。会場の福島県立霞ヶ城公園は素晴らしい松の古木に囲まれ、霞ヶ城の往時を偲ばせる立派な所でした。

見学後東北道で二本松市から本宮市に移動。長谷川親睦副委員長の企画により、アサヒビール福島工場を見学いたしました。国道沿いにある広大な敷地に貯蔵タンクが林立し、集合体となっている姿は、周りの畑や緑に囲まれて今ではすっかり環境にとけ込んでいます。また、日頃私たちが美味しそうに飲んでいるアサヒビールのコップ1杯には、約100億個もの酵母が使われているそうですし、官能検査といって専門の担当係員が毎日製造途中の工程毎に試飲して、数値だけでなく官能を満足したビールが出荷出来るのだそうです。最後は出来上がったばかりのビールを試飲して工場見学は終了しました。

丁度昼食の時間となり、工場敷地内にあるレストランで、珍しい牛肉でのジンギスカンをみんなで一緒に音を立てて焼き、出来立ての生ビールの味が引き立てられ、ひと際美味しく感じました。

午後6時に千葉で会議がある方がいたため、帰路はトイレ休憩のみとなりましたが、参加者が少ない分、集合も早くどこに行っても確認が容易であったことは、不幸？中の幸いです。お世話いただいた親睦委員会の皆様、本当にありがとう、そしてご苦労様でした。



YEGダンスパークに協賛

平成22年9月26日(土) 10:00~17:30 千葉中央公園

昨年はあいにく恒例の研修親睦旅行と同じ日となり、出店できませんでしたが、今年は満を持して、恒例の「焼そば屋さん」を出店いたしました。

出店者説明会で、以前の価格1個200円を他店舗とのバランスから、少し上げて欲しいとの要望を受けましたので、少々大きめにして300円に値上げすることに致しました。

今回も恒例のようにお世話になっている、大澤製麺の麻生社長に、焼そばの麺はもちろん、キャベツや肉などの加工、調味料はもとより、焼き台やガスコンロ、パッケージや箸まで焼そばに係るすべてを用意していただきました。

穴倉幹事長が前回好評だったラムネやビールなど飲み物を、また、阿佐会長が看板などのPOPを担当しました。

当日は幸いにも好天に恵まれ、イベント開

始の10時開店を目標に準備を始めました。

今年のダンスパークは、千葉市の補助が無くなったため緊縮財政とのことで、以前のスペースの半分となっていて、狭い店内でスタッフが窮屈に作業をしていました。

閉店の少し前から空模様が怪しくなり、客足も急激に少なくなりましたが、幸いなことに協議をして決めた300円のお陰で、そこそこに売上も上げることができました。経費を差し引いた残金で研修親睦旅行の飲み物を差し入れることができました。
(広報委員会副委員長 内藤 太)



第2回 星野歯科クリニック

歯科医院も、 待つだけでは淘汰される 「選ばれる」努力を欠かさず実行!

「選ばれる」ための差別化

いまや歯科医院は、コンビニより多いと言われる。言われているだけではなく、実際に多い。医療施設動態調査などの全国統計をみると、歯科医院の数はおよそ6万9000軒あり、コンビニの1.6倍とか。千葉市を含め、都市部の地域によっては角を曲がる度に歯科の看板に出会うぐらいに多いことだろう。

では歯科にかかる患者がそれに見合うだけ増えているのかい。いえ、そんなはずはないのである。ということは、開業しても患者が少なく経営に苦しむ医院も少なくないことは容易に想像がつく。

「昔のように、歯科の看板を掲げて待っていれば患者が自然にやって来る時代じゃなくなりました」

星野歯科クリニックを経営する歯科医で歯学博士の星野浩之は、静かな口調でこう語る。

星野歯科は、浩之の父親で同じく歯学博士の星野浩一院長が開業し、長男の浩之が当然のように後継者として歯科医の資格を取り、二人で治療に当たっているが、実質的にはすでに浩之がクリニック運営の主導権を握り、「選ばれる歯科医」をめざして様々な施策を講じつつある。

「歯科医って皆同じように見ている人も多いと思いますが、決して同じじゃないのです」

確かに同じ虫歯の治療でも、長くかかる歯科医もあればすぐに終わるところもある。最新の治療設備や技術を備えているところもあれば、そうでないところもある。十分な説明なしに治療をどんどん進めていくところもあれば、きちんと説明して患者の納得を得てから治療に当たるところもある。

星野歯科は、どうなのだろう。ここは医院側の弁よりも、患者の声を聞きたいところだ。歯科の全国版口コミサイト「デンターネット」で調べてみると、星野歯科について3件の口コミが書き込まれていた。原文通り紹介する。

「ここは先生が穏やかで話しやすいし、スタッフの質がとても高いと思います」

「虫歯治療でお世話になりましたが、いろいろと丁寧に説明して下さい安心して受けられました」

「とても治療が速くて、しかも仕上がりがきれいでもいつもびっくりしています」

この患者の声、実は医院側の弁に符合する。星野歯科の特徴は?との質問に、浩之はこう答えた。

「患者さんが十分納得するまで治療の

内容を説明しています。歯科医の世界にも説明責任があるのです」

説明責任。近年よく話題になる「インフォームド・コンセント」(説明と同意による治療)の確実な実行である。歯の治療は一見、患者側にシンプルに理解されやすそうだが、説明はそう簡単ではないと浩之は言う。患者が十分に理解し、納得するにはそれ相応の工夫と努力が必要だということだ。

星野歯科は、インフォームド・コンセントの実践を何よりも重視し、そのことにより差別化を図り、「選ばれる歯科医」になることをめざしているのだ。

きめ細かな“営業努力”

星野歯科の特色はほかにもある。二人の歯科医、浩一・浩之の親子とも歯学博士の称号を持っていること。また、浩一は、全国でも200人に満たない日本臨床歯周病学会の認定医であることなど、技術的な面でも差別化されている歯科医院なのである。

しかし、浩之はこうした特色さえ持っていれば黙っていても患者が集まるとは思っていない。普通の企業と同じように、不撓の“営業努力”を怠ることなく実践している。

たとえば、患者アンケートの実施や「ご紹介カード」の配布。アンケートには、待合室や治療室、スタッフの応対に対する意見、治療の内容そのものの感想や説明のわかりやすさ、待ち時間についてなど、細かな観点から率直な意見を聞いている。

一般のサービス業にとってはきわめて普通のことではあるが、歯科医院で患者の声を吸い上げて運営を改善していこうと考えるとそこはそう多くはない。

「ご紹介カード」は両面に印刷された名刺サイズのカードを待合室に置いておくだけだが、治療に好印象を持たば友人知人へ口コミと同時にこのカードを手渡す患者も少なくない。ちょっとしたことだが、「星野さんは良いよ」と口だけで伝えるよりも、もう一歩前に進む紹介の仕方、それなりの効果は上がっていると言う。

裏面には、診療面の特色も書かれている。日々当院では、予防と歯周病の治療を中心とした一口腔単位の診療を行っております。この一言メッセージも、効果を発揮しているようだ。

待合室には、主婦の友社発行の書籍「信頼できる歯医者さん2000人」がさりげなく置かれていた。付箋の貼っている頁を開くと、星野歯科も取り上げられていた。

(取材・文責/奥平。文中の敬称は省略しました。次回は星野浩之先生の紹介で(株)池田商會を予定しています)



委員会活動報告

朝食例会10月・11月度報告

平成22年10月9日・11月13日(土) ホテルグリーンタワー幕張

10月からは、「住んでいて意外と知らない千葉の歴史」と題して、講師に千葉神社・山本栄宮司、劇団ルネッサンス主宰・大川義行氏をお招きし、正に今まで住んでいながら知らなかった千葉の歴史について、古来より天皇の即位の儀式である「大嘗祭」(日本における最大のお祭り)に生地を献上していた逸話や江戸時代に天領として発展して行った過程など多方面にわたるお話を頂けました。兎に角、NHK教育テレビや千葉テレビ、ケーブルテレビなどで千葉県をご自身の足で徹底的に周られたお話には積極力があります。

参加した皆様からは、「こういう話を聞きたかった。」「是非ともシリーズでお願いしたい。」など、非常に好評を頂きました。また、千葉に生まれ育った先輩方からも、大きな



共感を頂きましたので、大川先生には12月度の朝食例会にも参加して頂き、千葉の歴史をクローズアップしてお話し頂くこととなりました。

一回目を聞きそびれてしまった方、安心して下さい。二回目からでも十分、いや、十二分に楽しめる内容を準備してお待ちしています。

どうぞ、奮ってのご参加をお待ちいたしております。

(例会委員長 臼井正一)



朝食例会のついで
①入会式 11月13日は向後委員会が入会式
②誕生祝い 11月は藤原相談役の誕生祝い
③美術の垂 ほぼ毎月山本相談役による美術館や美術展の鑑賞について講話
④議会報告 11月は小川市議が報告を行いました

12・1・2月のスケジュール

12/1(水)	役員会	18:15開会	ブラザ菜の花
12/4(土)	ミニ研修会(陶芸教室)	13:00~15:00	陶芸作家神谷紀雄工房
12/11(土)	定例朝食会	7:00開会	参加費 2,000円 会場: ホテルグリーンタワー幕張
1/5(水)	役員会	18:15開会	ブラザ菜の花
1/22(土)	新春の集い 賀詞交歓会	18:00開会	参加費 3,000円 会場: ホテルグリーンタワー千葉
2/2(水)	役員会	18:15開会	ブラザ菜の花
12/11(土)	定例朝食会	7:00開会	参加費 2,000円 会場: ホテルグリーンタワー幕張

全員で初顔合わせをしよう! 平成22年 新春の集い

恒例の新春の集い・賀詞交歓会を下記のように企画しています。

お誘い合わせてご参集ください。

- 日時 1月22日(土) 18:00~
- 参加費 会員 3,000円 非会員 5,000円
- 会場 ホテルグリーンタワー千葉
千葉市中央区問屋町 TEL043-302-1111

会員異動 事務所移転

臼井日出男先生 事務所がご自宅に変わりました。
〒262-0023 千葉市花見川区検見川町3-315-17
TEL.043-271-4175 FAX.043-273-3341

臼井 正一氏 臼井正一事務所が移転しました。
〒261-0004 千葉市美浜区高洲1-9-7-2
TEL.043-244-0033 FAX.043-244-2200

自宅移転

木下 英之氏 自宅が変わりました。
〒266-0002 千葉市緑区平山町1980-17
TEL.043-310-4429

編集後記

久しぶりに「会報つきぼし」の編集に携わっておよそ半年、月日の流れが急に早くなったようにも感じます。2カ月に1回発行というのは案外忙しいようです。しかし、会員の皆様が快くご協力して下さるおかげで、今年はずほどの遅れもなくスムーズに発行できました。今号の藤原相談役の研修旅行記も素晴らしい原稿、まさに「玉稿」でした。ありがとうございました。

さて、国会に目を転じれば大臣の相次ぐ失言やら何やらで補正予算案など肝心の審議が一向に進まないまま時が流れていきます。巷では、「民主党政権はもうもたないのでは」「菅総理ではだめだ」「この先、日本はどうなるんだ」という怒りや嘆きの声次々と聞こえてきます。次号は新年号です。臼井先生にそうした現状を踏まえて率直な年頭所感をお書きいただく予定です。

今年は、恒例の「望年会」が開催されず、新春の集いに集約されました。少し早いのですが、月星会員の皆様にとつて来年も良い年でありますようにお祈りいたします。
(産方)